

令和5年度

事業報告書

公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

令和5年度 事業報告

本協議会は、長年にわたり被爆者や市民の健康管理及び健康の維持増進に取り組んできており、令和5年度も引き続き、1)「被爆者の健康診断・健康管理事業」、被爆者の健康管理に関する調査研究事業及び「被爆者の援護福祉事業」、2)「市民の健康診断・健康管理事業」、3)「検査・診療事業」、4)「人間ドック健診事業」、5)広島市の指定管理者として本協議会が入居している「広島市健康づくりセンターの管理運営」及び「健康教育・子育て支援事業」等を実施した。

また、受診者・利用者へのサービス向上に努めるとともに、健診・検査事業の精度管理の向上や検査機器等の更新整備、職員の資質向上に取り組むとともに、被爆者の減少を踏まえ、正職員の削減（医師等を除き退職不補充）等を実施した。

1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

(1) 健康診断の実施

- ① 健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での出張健診を延べ332会場(※1)で実施した。(令和5年7月10日については、大雨の影響を考慮し、広島市と協議のうえ、出張健診を2会場中止した。)

また、出張健診において、受診対象となる地域が広範囲となる会場については、被爆者の高齢化等を踏まえ、最寄りのバス停から近くの会場まで送迎を実施した。(送迎者数54人)

(※1) 被爆者健診のみ単独実施：140会場、住民健診と同時実施：192会場

【健診場所別の受診件数】

(単位：件)

区分	施設(※3)	出張	計
一般検査	3,228 (87)	6,102	9,330
がん検診等(※2)	10,194 (209)	10,324	20,518
被爆二世健康診断	2,823	20	2,843

(※2) 胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、大腸がん検診、多発性骨髄腫検診、骨粗鬆症検診の合計

(※3) ()内は、下記②の休日に受診した件数

- ② 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも各種検診を実施した。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮がん検診は第3日曜日のみ実施。年間で受診率の低い4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)の検診は行わなかった。)
- ③ 被爆二世健康診断は、平成29年度から引き続き受診の予約を広島市及び広島県経由でなく本協議会が直接受ける方法により、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場(広島市のみ)で実施した。
- ④ 出張健診の日程は、広島市の広報や本協議会のホームページで周知を図った。また、被爆者定期健康診断未受診者に対して年1回受診勧奨通知を発送して受診促進を図った。(通知数：1,785通、受診者数：777件、受診率：43.5%)

【検査別件数】

(単位：件)

区 分		計 画	実 施 数	
被 爆 者	一 般 検 査	8,400	9,330	
	精 密 検 査	8,400	9,327	
	胃がん検診	X 線	400	358
		内視鏡	500	489
	肺 が ん 検 診	5,000	5,465	
	乳 が ん 検 診	900	999	
	子 宮 が ん 検 診	600	668	
	大 腸 が ん 検 診	3,300	3,630	
	多発性骨髄腫検診	6,000	6,632	
	骨粗鬆症検診	2,100	2,277	
被爆二世健康診断		2,110	2,843	
合 計		37,710	42,018 (計画件数の111.4%)	

(2) 健康管理の推進

被爆者の高齢化を考慮し、次の事項を重点に取り組んだ。

① 悪性新生物の早期発見

広島大学大学院医系科学研究科、同原爆放射線医科学研究所、公益財団法人放射線影響研究所等の協力を得て、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・大腸がん・多発性骨髄腫等の悪性新生物の早期発見に努めた。

② 生活習慣病及び高齢者に多い疾患の早期発見と指導

糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症、サルコペニア(※)、認知症等の早期発見に努めるとともに、保健指導、栄養指導を行った。

(※) 進行性及び全身性の骨格筋量及び骨格筋力の低下を特徴とする症候群

(3) 健康診断医療機器等の整備

検査機器の老朽化等に対応するため、次のとおり機器を更新・整備した。

① マンモグラフィCAD 整備 (605万円)

② 情報セキュリティシステム 整備 (1,470万円)

(4) 被爆者健康管理資料の作成等

受診者の健診資料(健康診断個人票・がん症例報告等)を集計して、概要を本協議会の事業概要やホームページに掲載した。

また、調査研究資料として活用できるよう整理・保存した。

- ・ 健康診断個人票 52,819件

(5) 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

国の黒い雨体験者に対する相談・支援事業を広島県、広島市の委託を受けて実施した。なお、令和4年度から開始された黒い雨体験者への被爆者健康手帳の交

付に伴い、本事業の対象者数が著しく減少し、開催を予定していた巡回相談会（5会場）及び医師等相談会（2会場）のいずれにも予約がなかったため、広島県・広島市との協議のうえ、全ての相談会を中止した。

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業1）

（1）調査研究の継続実施

本協議会での検診データを活用して、被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量及び質と各種疾患についての横断並びに縦断調査等、平成 29 年度以前に実施したものに加えて、平成 30 年度に新たに着手した次の 6 項目の研究を引き続き実施し、令和 5 年度から新たに 1 項目の研究を追加した。

また、適宜、それまでの成果等を関係学会や医学雑誌、会報等で発表した。

- ① 加熱式タバコが喫煙に関連した自覚症状にもたらす影響についての検討
- ② 健診結果に基づく癌と生活習慣病に関する横断並びに後向きコホート調査
- ③ 高齢者における血清 NT-proBNP 値の意義についての観察研究
- ④ 高齢者における心血管危険因子と予後についての前向き観察研究
- ⑤ 中高年者における非空腹時脂質値に関する横断並びに後向きコホート調査
- ⑥ 糖代謝異常症例における心血管危険因子と予後の検討
- ⑦ 被爆者の放射線被曝と動脈硬化並びに循環器疾患の関連性についての研究

（2）文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集し、その活用を図った。（令和 6 年 3 月 31 日現在の蔵書数 1,056 点）

（3）第 63 回原子爆弾後障害研究会

令和 5 年 6 月 4 日（日）、広島市において「第 63 回原子爆弾後障害研究会」を公益財団法人放射線影響研究所、広島大学原爆放射線医科学研究所と共同で Web 開催し、本協議会医師がワークショップで発表し、ディスカッションを行った。

・ワークショップ

「広島原対協における被爆者健診資料の保管状況と課題」

上野 義隆 健康管理・増進センター所長

3 被爆者の援護福祉事業（公益事業2）

（1）被爆者相談の実施

広島市の協力の下、被爆者相談を行った。

（単位：件）

区 分	実施数
生活・福祉相談	140
健康・医療相談	41
原爆関係諸制度	12

被爆者の子の相談	19
その他	4
計	216

(2) 援護措置の実施

本協議会独自で次の援護措置を行った。

(単位：件)

援護措置区分	実施数
生活困窮者援護金	0
被爆身障者見舞金	16
福祉用具利用料補助	274
計	290

4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

(1) 高齢者医療確保法に基づく健康診査等の実施

① 特定健康診査等の実施

ア 健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での集団健診を延べ265会場(※1)で実施した。(令和5年7月10日については、大雨の影響を考慮し、広島市と協議のうえ、集団健診を1会場中止した。)

(※1) 住民健診のみ単独実施：73会場、被爆者健診と同時実施：192会場

【健診場所別の受診件数】

(単位：件)

区 分	施 設(※3)	集 団	計
特定健康診査等 (※2)	10,121 (713)	2,979	13,100
後期高齢者健康診査	3,809 (138)	1,499	5,308

(※2) 医療保険未加入者分(199件)及び被用者保険加入者分(1,655件)を含む。

(※3) ()内は、下記ウの休日に受診した件数

イ 上記アのうち、全国健康保険協会と広島市との連携のもと、協会けんぽの被扶養者を対象とする特定健康診査と5大がん検診(※4)との同時実施(※5)を6会場で実施した。

(※4) 胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、大腸がん検診

(※5) 特定健康診査：215件、がん検診：410件

ウ 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも各種検診を実施した。(年間で受診率の低い4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)の検診は行わなかった。)

② 特定保健指導の実施

特定健康診査等の健診結果に基づき、医師及び管理栄養士による生活習慣改善のための支援として特定保健指導を実施した。

【実施者数】 (単位：人)

区 分	動機付け支援	積極的支援	計
特 定 保 健 指 導	389	220	609(※6)

(※6) うち特定健康診査等受診日に実施：602人

③ 集団検診の日程は、広島市及び本協議会のホームページで周知を図った。

(2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

① がん検診等の実施

ア 健康づくりセンターでの施設検診のほか、公民館・集会所等での集団検診を延べ408会場(※1)で実施した。(令和5年7月10日については、大雨の影響を考慮し、広島市と協議のうえ、集団検診を2会場中止した。)

(※1) がん検診のみ単独実施：132会場、健康診査等と同時実施：276会場

【検診場所別の受診件数】 (単位：件)

区 分	施 設(※3)	集 団	計
が ん 検 診 等 (※2)	44,558 (3,152)	24,877	69,435

(※2) 5大がん、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査、風しん抗体検査の合計

(※3) ()内は、下記ウの休日に受診した件数

イ 上記アのうち、受診機会の拡大のため、健康診査等と5大がんの同時実施(※4)を84会場、休日の集団検診(※5)を26会場、夜間の集団検診(※6)を5会場で実施した。

(※4) 健康診査等：2,648件、がん検診：15,979件

(※5) 健康診査等：570件、がん検診：3,871件

うち17会場は健康診査等と5大がん検診の同時実施

(※6) 健康診査等：19件、がん検診：127件

ウ 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも各種検診を実施した。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮頸がん検診は第3日曜日のみ実施。年間で受診率の低い4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)の検診は行わなかった。)

② 集団検診の日程は、広島市及び本協議会のホームページで周知を図った。

また、安佐南区・安佐北区・佐伯区のがん検診未受診者に対して年1回受診勧奨通知を発送して施設検診の受診促進を図った。

(通知数：4,941通、受診者数：1,625件、受診率：32.9%)

(3) 感染症法に基づく結核健康診断の実施

【健診場所別の受診件数】

上記(2)の肺がん検診受診者数を含む。

(単位：件)

区 分	施 設	集 団	計(※)
結 核 健 康 診 断	9,006	4,273	13,279 (17)

(※) ()内は、結核健康診断の単独受診件数

(4) 健康管理資料の保管

精密検査実施者については、前後の検診データ（カルテ、心電図等）を含めて個人ごとにファイル化して（電子データはシステム内で）保管した。

- ・ ファイル化数 68,897人分（令和6年3月31日現在）

【検査別件数】

（単位：件）

区 分		計 画		実 施 数			
特 定 健 康 診 査 等		13,850		13,100			
後期高齢者に対する健康診査		5,500		5,308			
特 定 保 健 指 導		837		609			
胃 がん 検 診	X 線	8,000	67,045	7,746	69,435		
	内 視 鏡	3,070		2,861			
肺 が ん 検 診		20,000		20,036			
乳 が ん 検 診(※1)		7,000		7,185			
子 宮 頸 が ん 検 診(※1)		5,600		5,826			
大 腸 が ん 検 診		16,700		16,541			
骨 粗 鬆 症 検 診		3,900		4,412			
肝 炎 ウ イ ル ス 検 査(※2)		2,610		4,724			
風 し ん 抗 体 検 査		165		104			
結 核 健 康 診 断		13,200		13,279			
合 計		100,432		101,731 (計画件数の101.3%)			

(※1) 広島市の無料クーポン（女性特有のがん検診推進事業）分を含む。

乳がん検診：342件、子宮頸がん検診：20件

(※2) 広島県の肝炎ウイルス検査（72件）を含む。

5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3）

令和4年4月からの5年間、広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの管理運営、健康科学館での健康教育事業及び子育て支援事業を行った。なお、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けが5類感染症になったことに伴い、来館者への感染防止対応を解除した。

(1) 健康教育事業

健康科学館年間入館者数：36,828人 【計画：52,800人】

① 健康科学展示施設の運営

- ・ 企画展 年4回（延べ276日）開催 【計画：年4回】

企画展観覧者数：35,601人

- ・ パネル展 年12回 【計画：年12回】

② 健康ライブラリーの運営

- ・ 図書及びビデオを利用した学習の場の提供 利用者：2,269人

③ 健康に関する研修等の実施

- ・ 主催による研修会・イベント 年 48 回開催 【計画：年 46 回】
参加者：1,544 人

④ ボランティア（ヘルスサポーター）の養成・育成

- ・ ボランティア養成講座 年 1 回（6 課程）開催 【計画：年 1 回】
- ・ ボランティア育成講座 年 3 回開催 【計画：年 2 回】
- ・ ボランティア活動実績 年 432 回（延べ 887 人） 【計画：年 430 回】

⑤ 健康に関する情報の収集・提供

身近な健康情報を取りまとめて広報紙や本協議会のホームページで提供した。

(2) 子育て支援事業

① ファミリー・サポート・センター事業

保育施設への送迎や保育時間以外の自宅等での預かり等の子育てを援助支援する人（提供会員）の育成や、そのような援助を受ける人（依頼会員）とのマッチング等を実施した。

- ・ 会員数：3,128 人（提供会員：316 人、依頼会員：2,780 人、両方：32 人）
- ・ マッチング件数：423 件
- ・ 提供会員登録希望者への講習会 年 1 回開催 【計画：年 1 回】

② つどいの広場事業

乳幼児と保護者が、他の子どもや保護者と一緒に遊んだり、保護者同士の情報交換等の場を提供するとともに、子育て等の情報提供、講演会、ボランティアによる育児相談を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けが 5 類感染症になったことに伴い、午前午後を利用を分ける二部制や予約制を廃止した。

- ・ 利用者数：13,400 人（大人：6,732 人 乳幼児・幼児：6,668 人）
【計画：20,600 人】
- ・ 子育て等に関する講習会 年 25 回開催 【計画：年 20 回】

③ パパとママの育児教室の開催

第 1 子妊娠中の夫婦を対象に、助産師や先輩パパによるアドバイスやオムツ交換実習等を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けが 5 類感染症になったことに伴い、縮小していた 1 回当たりの参加者数を段階的に引き上げて実施した。

また、2 月実施分より Web による申込方式を開始した。

- ・ 年 34 回開催 参加者：1,758 人 【計画：年 34 回】

6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業）

(1) 検査診療等の事業

本協議会の健診等において、悪性疾患等が疑われた者に、確定診断等のための詳細な検査（CT・MRI・内視鏡・超音波検査等）を行った。（治療が必要な場合には、本人の希望に応じて外部医療機関を紹介した。）

また、広島市医師会員からの依頼に基づき生体検査（CT・MRI・超音波検査等）

を行った。

【主な検査件数】

- ・ C T 検査 1,326 件 (うち医師会員依頼 470 件)
- ・ M R I 検査 1,380 件 (うち医師会員依頼 570 件)
- ・ 超音波検査 8,343 件 (うち医師会員依頼 52 件)

(2) 人間ドック健診等の事業

事業所・健康保険組合等からの委託を受け、人間ドック健診や事業所健診等を行うほか、全国健康保険協会管掌健康保険加入事業所を対象に生活習慣病予防健診を行うとともに、メンタル面での健診メニューとしてストレスチェックを行った。

また、健診結果に基づき、生活習慣の見直し等を指導し、病気の発症を未然に防ぐとともに、疾病を早期に発見し、早期治療ができるようフォローアップを行った。

【健診別件数】

(単位：件)

区 分	計 画	実 施 数
人 間 ド ッ ク 健 診	1,867	2,030
生 活 習 慣 病 予 防 健 診	3,289	3,287
事 業 所 健 診	3,473	3,507
ス ト レ ス チ ェ ッ ク	800	821
合 計	9,429	9,645 (計画件数の 102.3%)

(3) その他の健診等の事業

- ① 軽度認知症等の早期発見の見地から、以下の検査を行った。

【検査別件数】

(単位：件)

区 分	計 画	実 施 数
ものわすれチェックテスト (早期認知機能低下の早期発見)	90	70
ロコモチェック (運動機能低下の早期発見)	15	19
合 計	105	89 (計画件数の 84.8%)

- ② 各種予防接種の実施

広島市健康づくりセンターにおいて、各種予防接種を実施した。

【主な接種件数】

- ・ 新型コロナワクチン接種 2,416 件
- ・ インフルエンザワクチン接種 2,312 件

- ③ 医療機関からの依頼による胃内視鏡検診の二重読影を行った。(2,049 件)

7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

- ① 「放射線被曝者医療国際協力推進協議会 (HICARE)」の主要推進団体として、被曝者医療を学ぶために来日した外国の研修生の受入れを実施した。
 - ・ 受入実績 4回 延べ16人
- ② 令和6年2月17日、広島国際会議場においてHICARE 県民・市民講演会「身近な放射線」が開催され、上野義隆 健康管理・増進センター所長が座長を務めた。

(2) 来日被曝者の健康診断、医療相談等の実施

- 来日した被曝者の健康診断及び医療相談、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談等を実施した。
- ・ 相談者数 5人

8 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

健康診断受診状況一覽

1. 被爆者の健康診断

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比 (B) / (A)
一 般 検 査	13,011	10,140	8,663	9,460	9,330	98.6%
精 密 検 査	13,032	10,155	8,662	9,459	9,327	98.6%
胃 が ん 検 診	1,539	1,069	902	936	847	90.5%
肺 が ん 検 診	7,194	5,850	5,189	5,454	5,465	100.2%
乳 が ん 検 診	1,451	1,063	943	993	999	100.6%
子 宮 が ん 検 診	1,043	769	654	672	668	99.4%
大 腸 が ん 検 診	5,130	3,833	3,451	3,583	3,630	101.3%
多 発 性 骨 髄 腫 検 診	8,922	7,356	6,466	6,751	6,632	98.2%
骨 粗 鬆 症 検 診	3,081	2,562	2,364	2,335	2,277	97.5%
被 爆 二 世 健 康 診 断	2,149	1,881	2,042	2,390	2,843	119.0%
計	56,552	44,678	39,336	42,033	42,018	100.0%

2. 市民の健康診断

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比 (B) / (A)
特 定 健 康 診 査 (※1)	14,853	11,911	12,226	13,288	13,100	98.6%
後 期 高 齢 者 健 康 診 査	5,340	4,015	3,981	4,931	5,308	107.6%
特 定 保 健 指 導 (※2)	635	529	510	725	609	84.0%
胃 が ん 検 診	12,794	10,351	10,795	11,096	10,607	95.6%
肺 が ん 検 診	22,790	18,745	18,562	20,132	20,036	99.5%
乳 が ん 検 診	8,208	5,861	6,665	7,072	7,185	101.6%
子 宮 頸 が ん 検 診	6,627	4,788	5,411	5,694	5,826	102.3%
大 腸 が ん 検 診	17,849	15,224	15,604	16,645	16,541	99.4%
骨 粗 鬆 症 検 診	3,455	3,639	3,706	4,177	4,412	105.6%
肝 炎 ウ イ ル ス 検 査	4,547	2,767	2,624	3,255	4,724	145.1%
風 し ん 抗 体 検 査	265	607	175	169	104	61.5%
結 核 定 期 健 診	15,260	12,437	12,234	13,270	13,279	100.1%
計	112,623	90,874	92,493	100,454	101,731	101.3%

(※1) 特定健康診査には被用者保険加入者及び医療保険未加入者の健康診査を含めている。

(※2) 特定保健指導は実施者数で表示している。

3. 主な検査件数

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比 (B) / (A)
C T 検 査	1,435	1,205	1,167	1,264	1,326	104.9%
M R I 検 査	1,514	1,324	1,494	1,475	1,380	93.6%
胃 内 視 鏡 検 査	5,453	4,778	5,508	5,786	5,692	98.4%
大 腸 内 視 鏡 検 査	516	454	368	355	377	106.2%
ブドウ糖負荷試験	25	10	73	51	47	92.2%
超 音 波 検 査	7,722	7,328	7,477	7,710	8,343	108.2%
胃 部 X 線 検 査	17,269	11,625	11,152	11,310	10,804	95.5%
計	33,934	26,724	27,239	27,951	27,969	100.1%